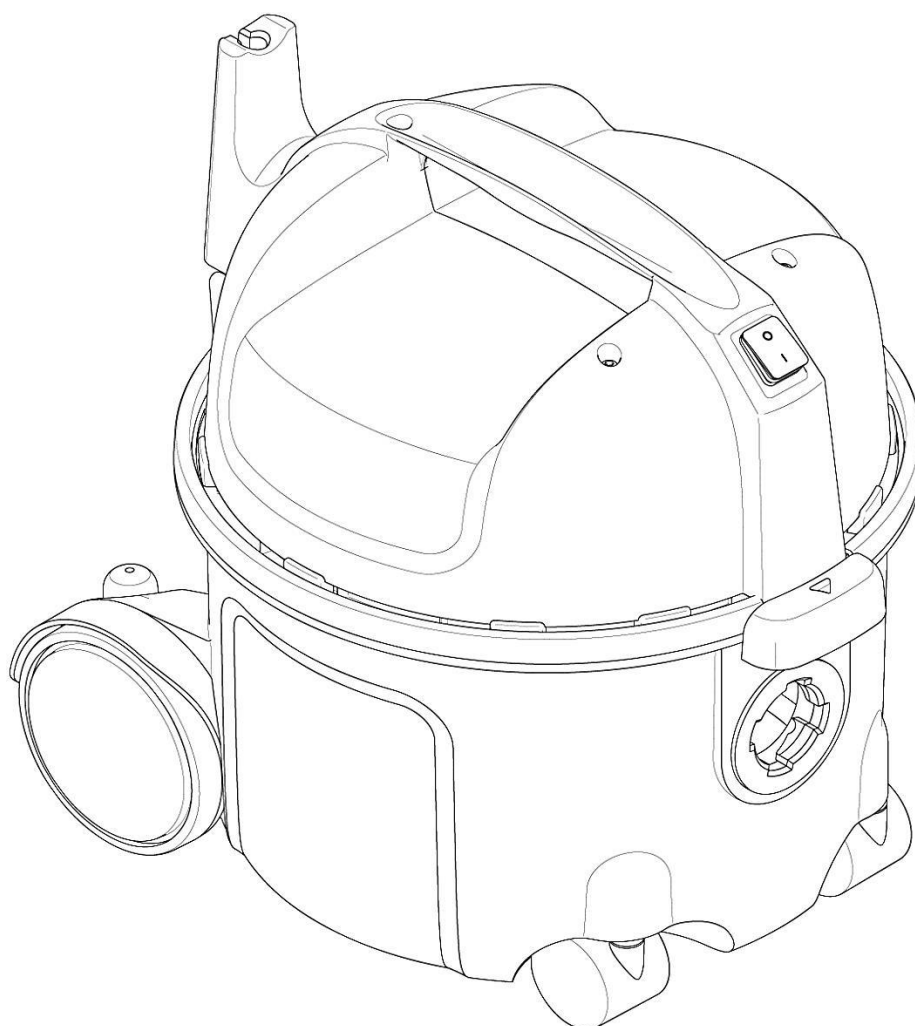
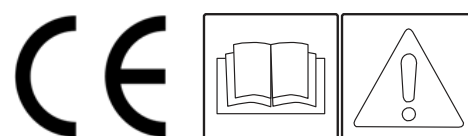


AVP300 ECO

取扱説明書



 **アズワン株式会社**

このたびは、AVP300 ECO をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本書は、長く効率よくご利用いただくためのご使用とお手入れの方法を説明しております。この説明書に示された注意事項をよく読んでから操作してください。

AVP 300 ECO

目次

安全にお使いいただくために	3
各部の名称	5
仕様	6
使用前の準備	7
操作のしかた	9
使用後のお手入れ	10
メンテナンスについて	11
トラブルシューティング	15
アフターサービスと保証について	16

◆ 安全にお使いいただくために

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、下記の注意事項を必ず守ってください。
- ご使用になる前に、下記の注意事項すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

警 告

- 本機はドライ使用のみで、屋外や濡れた場所での使用および保管は避けてください。
- この取扱説明書に従ってご使用ください。また、付属品は必ずメーカー指定のものを お使いください。事故の原因となります。
- 有毒粉塵や可燃性または爆発性物質などの危険物を吸引しないでください。引火性の液体や気体、または粉塵のある場所では使用しないでください。発火する恐れがあります。
- 火のついたままのタバコやマッチ、灰などを吸引しないでください。火災や事故の原因になります。
- 水、液体、可燃性ガスを吸引するためにこの掃除機を使用しないでください。
- 傷んだコードやプラグは、ご使用にならないでください。感電の恐れがあります。定期的にコードやプラグが傷んでいないか点検してください。
- 電源コードの交換は危険を防止するために、必ず製造者もしくはその代理店、又は 同等の有資格者が行うようにしてください。
- 濡れた手でプラグやコード、機械本体に触れないでください。感電の恐れがあります。
- プラグをコンセントから抜く際は、コードを引っ張らないでください。必ずコードではなくプラグを持って抜いてください。
- プラグをコンセントから抜く際は、必ず機械の電源を切ってください。感電の恐れがあります。
- 修理・点検を行なうときは、必ず本体のスイッチを切り、コンセントからプラグを外してください。

* 次ページに続く

警 告

- 監督または指示がない限り、お子様や経験や知識の乏しい方は、この掃除機を使用しないでください。
- お子様がこの掃除機で遊ばないようにご注意ください。
- 機械、電気、熱センサーの改造は一切しないでください。
- モーターや他の重要なパーツをオーバーヒートから守るため、この掃除機には熱センサーによる自動停止機能が付いています。掃除機が停止した場合、最低 5～10 分で自動的にリセットされます。お待ちの間に掃除機のスイッチをオフにし、また、電源コードをコンセントから抜いた上で ホース、ペーパーバッグ、フィルターを点検して詰まり等がないことを確認してください。
- この掃除機は、気温 40℃から 0℃の間の室内で保管してください。

◆ 各部の名称

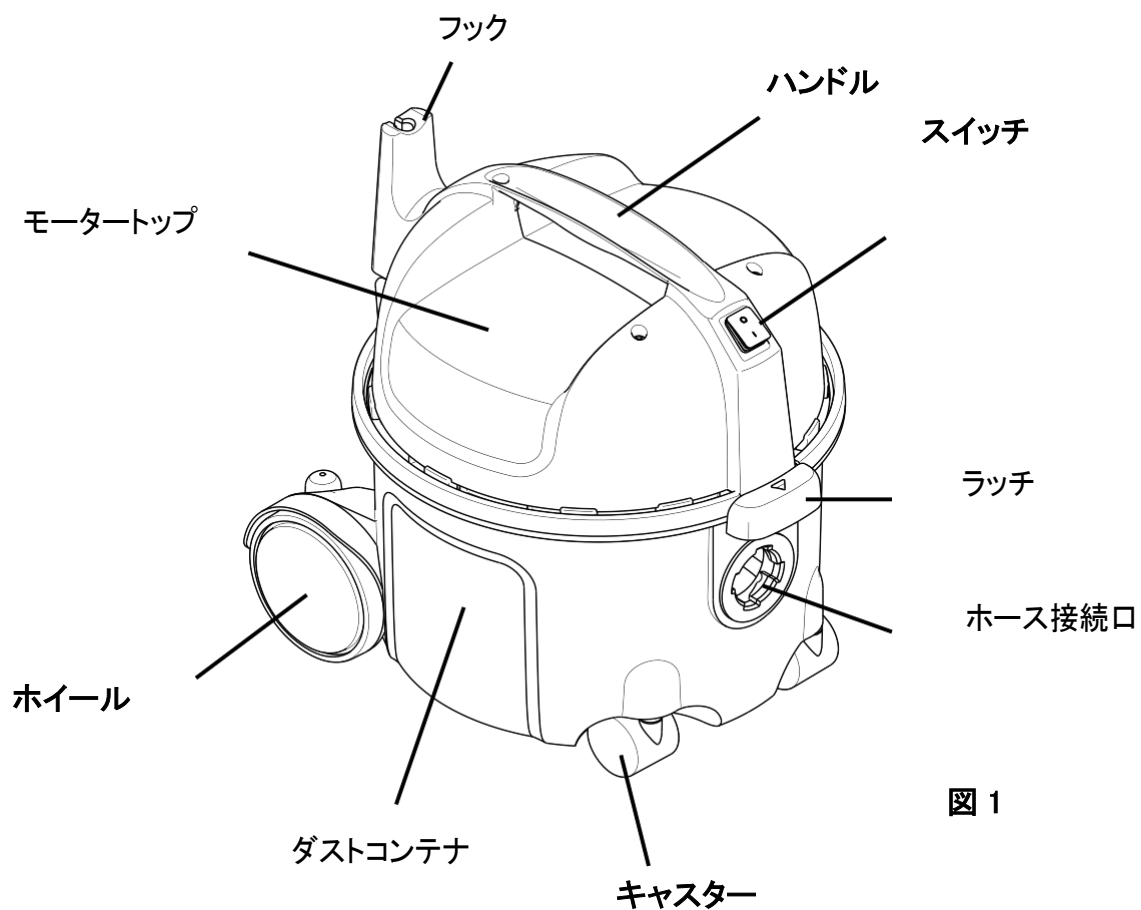


図 1

標準付属品

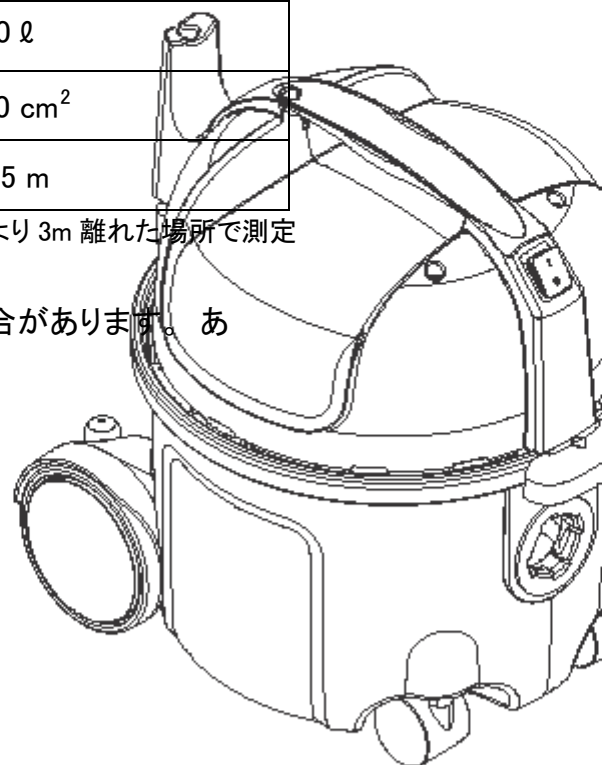
- ・ フロアノズル／ラウンドブラシ／クレビスノズル
- ・ チューブ 2 本
- ・ ホース
- ・ ペーパーバッグ 1 枚(本体セット済)

◆ 仕様

		AVP300 ECO
定格電圧		100V / 50Hz, 60Hz
消費電力		900 W
最大静圧		19 kPa
最大風量		29 ℓ / 秒
騒音レベル(*BS5415)		50±2 dB (A)
本体寸法	全幅	340 mm
	全長	395 mm
	全高	390 mm
	重量(本体のみ)	5.2 kg
ペーパーバッグ容量		10 ℓ
メインフィルター面積		1250 cm ²
電源コード		15.5 m

*本体より 3m 離れた場所で測定

※ 商品の仕様は、改良のため予告なしで変更する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。



◆ 使用前の準備

警 告

- ペーパーバッグ、各フィルターを取り付けるときは、必ず機械の電源を切ってください。事故やけがの原因になります。
- ペーパーバッグが必ず所定の位置に取り付けてご使用ください。
- 使用する前に必ずペーパーバッグが損傷していないか、ゴミが一杯になっていないかをチェックしてください。
モーターにホコリが入り込み、故障の原因になります。

注 意

- 本機には必ずニルフィスク純正ペーパーバッグをご使用ください。純正以外のペーパーバッグをご使用された場合、吸引力が低下し風量等の不足でモーターがオーバーヒートする場合があります。
- 作業スタッフの衛生上の問題を考慮し、ペーパーバッグの常用使用をお勧めします。

ホースの取り付け/取り外し

＜ホースの取り付け方＞

1. ホースを吸引口に差し込みます。(図 2)
2. 右に回して固定します。(図 3)

図 2

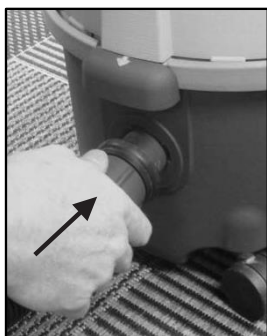


図 3



＜ホースの取り外し方＞

1. ホースを左に回します。(図 4)
2. 吸引口から引き抜きます。(図 5)

図 4

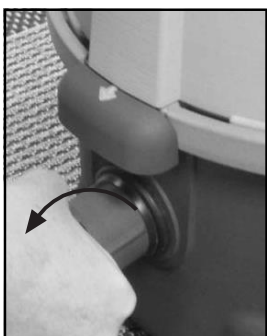
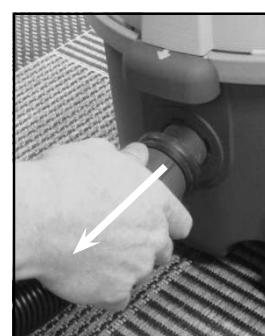


図 5



各種ノズル

1. チューブの先端にご使用目的に合ったノズルを差し込みます。(図 6-7)

図 6



図 7



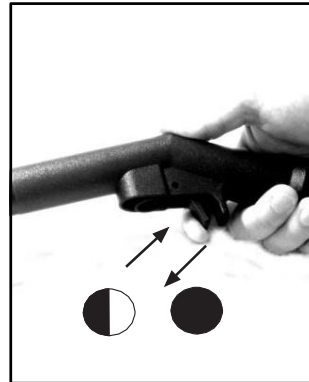
◆ 操作のしかた

1. 「使用前の準備」の項を参照して機械の準備をします。
2. 電源スイッチを入れます。(図 8)
3. 吸引力が強すぎる場合は下図のように、吸引力を調節します。(図 9)

図 8



図 9



◆ 使用後のお手入れ

1. 電源コードをコンセントから抜く際には、コードを引っ張らず、必ずプラグを持ってください。
(図 10-11)

図 10



図 11



2. 電源コードは本体側から巻き、巻き終わったら本体のフックに掛けてください。(図 12-13)

図 12



図 13



3. ペーパーバッグを確認し、必要に応じて「メンテナンスについて」の項を参照して交換してください。
4. フロアノズル、各種ノズルは下図のように本体に収納してください。(図 14-16)

図 14

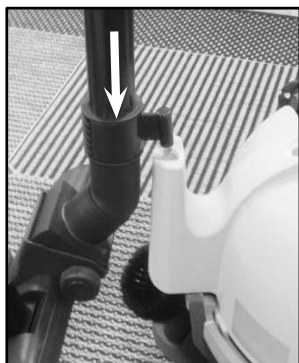
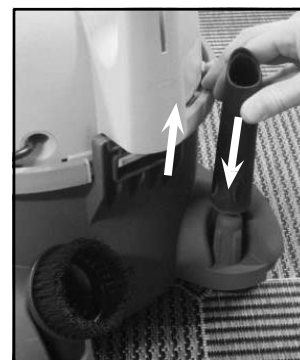


図 15



図 16



◆ メンテナンスについて

警 告

- 掃除機を使用した後は、必ずペーパーバッグを点検し、損傷があったりゴミが一杯になっていたら、ペーパーバッグを交換してください。事故や故障の原因になります。
- ペーパーバッグ、フィルターのメンテナンス・交換の際は、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。火災、感電、けがの原因になります。
- 掃除機の点検、部品交換、修理等を行なうときは、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。火災、感電、けがの原因になります。

注 意

- 本機は常に乾燥した場所に保管してください。
- 定期的にペーパーバッグ、サックフィルター、モーターフィルターの交換が必要です。
- サックフィルターの掃除に使用する場合はペーパーバッグを掃除機にセットしてください。
- 乾いた布で本体を常にきれいにしてください。
- 純正以外のペーパーバッグまたはフィルターをご使用になると、吸引力が劣ったり、掃除機の過負荷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- 本機には、純正のアクセサリー、または弊社指定のオプションのアクセサリー以外ご使用にならないでください。

ペーパーバッグ(図 17)の交換

1. 図のようにホースを左に回し(図 18)、引き抜いて外します。(図 19)
2. ラッチを手前に引き(図 20)、ハンドルを持って、モータートップを取り外します。(図 21)
3. ダストコンテナからペーパーバッグを引き抜きます。(図 22)
4. 新しいペーパーバッグをダストコンテナのスロットに差し込み、取り付けます。(図 23-24)
5. ハンドルを持って、後ろの位置を合わせてモータートップを取り付け(図 25)、ラッチを押してダストコンテナに留めます。(図 26)
6. ホースを差し込み、右に回して固定します。(図 27)

図 17



図 18

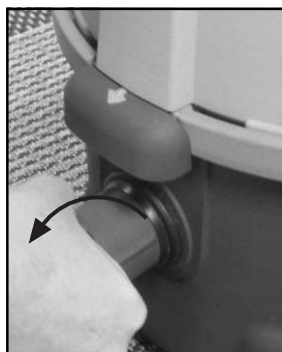


図 19

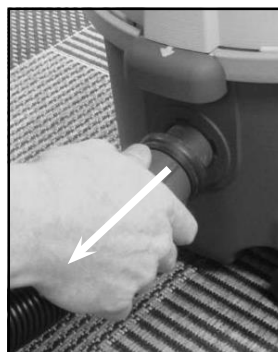


図 20

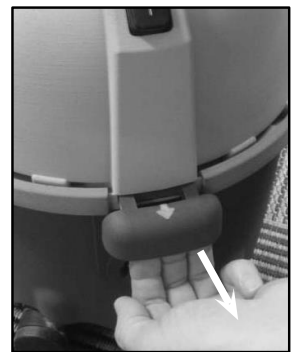


図 21



図 22



図 23

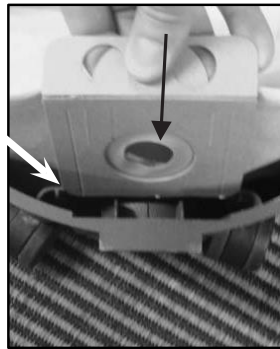


図 24



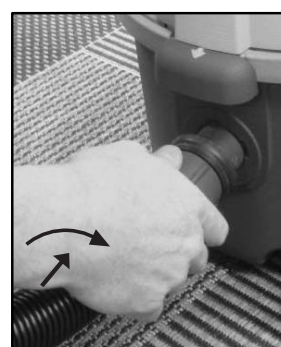
図 25



図 26



図 27



サックフィルター(図 28)の交換

サックフィルターの汚れがひどい場合は、サックフィルターを交換します。

1. ラッチを手前に引き(図 29)、ハンドルを持ってモータートップを取り外します。(図 30)
2. モータートップをサックフィルターが上側になるように置き、サックフィルターを取り外します。(図 31)
3. 新しいフィルターの端をツメに引っ掛けて取り付けます。(図 32-33)
4. ハンドルを持って、後ろの位置を合わせてモータートップを取り付け(図 34)、ラッチを押して 留めます。(図 35)

図 28



図 29

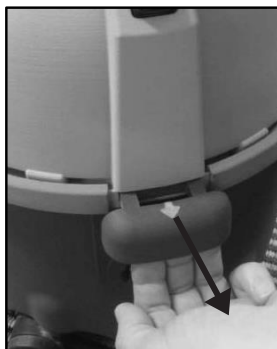


図 30



図 31

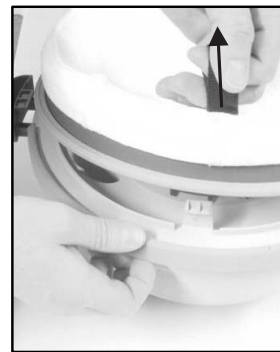


図 32

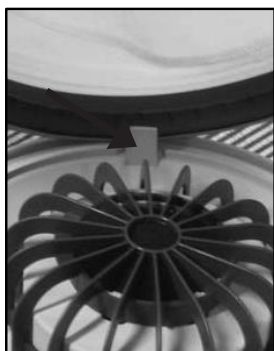


図 33

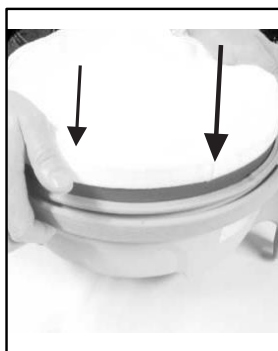


図 34



図 35



モーターフィルター(図 36)の交換

定期的にモーターフィルターを交換します。

1. ラッチを手前に引き(図 37)、ハンドルを持ってモータートップを取り外します。(図 38)
2. モータートップをサックフィルターが上側になるように置き、サックフィルターを取り外します。(図 39)
3. モーターカバーを反時計回りに回して取り外します。(図 40)
4. モーターフィルターを交換します。(図 41)
5. モーターカバーを時計回りに回して取り付け、サックフィルターを装着します。(図 42-44)
6. ハンドルを持って、後ろの位置を合わせてモータートップを取り付け(図 45)、ラッチを押して 留めます。(図 46)

図 36



図 37

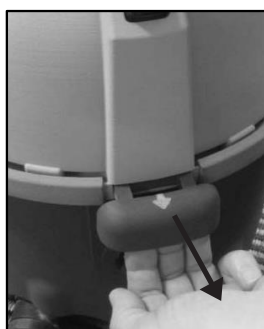


図 38

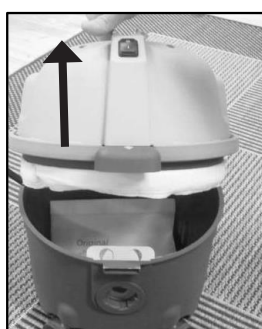


図 39

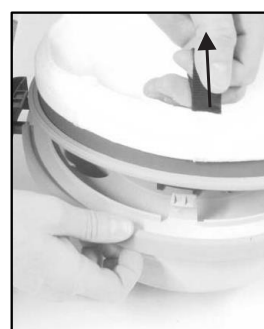


図 40

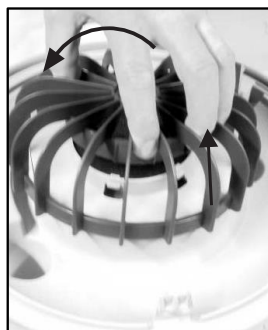


図 41

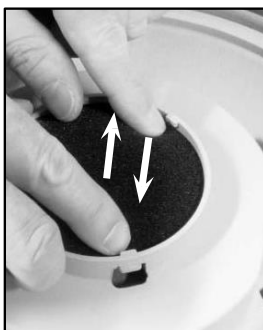


図 42



図 43

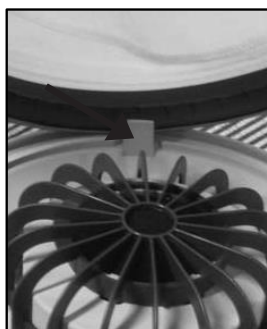


図 44

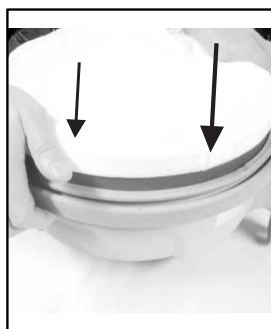


図 45



図 46



◆ トラブルシューティング

警 告

- 機械の点検・部品交換・修理等を行なうときは、必ず機械の電源を切り、コンセントを抜いてください。火災、感電、けがの原因になります。

こんな時は・・・

故障状況	点検項目	原 因	処 置
モーターは回転しているが吸引しない (吸引力が弱い)	ホース	ホースにゴミが詰まっている	ゴミを取り除く
		ホースと接続部に隙間がある	完全に接続する
		ホースが損傷している	ホースの修理または交換
	ペーパーバッグ	ゴミが一杯になっている	ペーパーバッグの交換
		ペーパーバッグの損傷	
	各フィルター	各フィルターの目詰まり	各フィルターの清掃
		各フィルターの損傷	各フィルターの交換
異常な音をする	各部品のネジ	ネジのゆるみ	ネジを完全に締めつける

所定の処理方法で回復しない場合は、機械の故障が考えられます。お問い合わせ先までご連絡ください。

◆ アフターサービスと保証について

- ◎ ご購入頂いた日から1年間を保証期間とし、保証期間中に発生した故障は原則として無料修理させていただきます。なお、保証期間中でも、お客様の使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷 及び消耗品については、有料となりますのでご注意ください。
- ◎ 使用中にトラブルが発生した場合、修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、点検してください。その上で回復しない場合にはご自身で修理せずに、お買い求め先までご相談ください。
- ◎ 保証に関する詳しい内容は、保証書を参照してください。

商品についてのお問い合わせは

カスタマー相談センター

TEL 0120 -700 -875

FAX 0120 -700 -763

問合せ専用URL <https://help.as-1.co.jp/q>

受付時間: 午前9時～12時、午後1時～5時30分
土・日・祝日及び弊社休業日は、ご利用できません

／アズワン株式会社